



Nonoshita Yukari
Soprano Recital

ミシェル・ランベール

Michel Lamberl (1610-1696)

- ・味わおう、甘美な休息を

Goûtons un doux repos

ジョゼフ・シャバンソー・ド・ラ・バル

Joseph Chabanceau de la Barre (1633-1678)

- ・希望が恵みになるならば

Si c'est un bien que l'espérance

フランソワ・クーブラン

François Couperin (1668-1733)

- ・ブリュネット《ゼフィール》

Brunette - Zéphyre

- ・《クラヴサン曲集第1巻》より〈暗闇〉〈巡礼者〉*クラヴサンソロ

-Premier livre de clavecin- La ténébreuse - Les pèlerines

アンドレ・カンブラ

Andre Campra (1660-1744)

- ・カンタータ《エベ》

Cantate - Hébé

ミシェル・リシャール・ドラランド

Michel - Richard de Lalande (1657-1726)

- ・聖金曜日のための第3ルソン

Troisième Leçon de Vendredi Saint

ほか

※演奏曲目に変更が生じる場合がございます、ご了承下さい。

野々下由香里 ソプラノリサイタル

〜フランス古典を辿る〜

葉形亜樹子氏 (Clavecin) を迎えて

野々下由香里 Yukari Nonoshita ソプラノ

大分県出身。東京藝術大学声楽科を首席で卒業、同大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏声楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中の'89年「フィガロの結婚」ケルビーノ役でレンヌ歌劇場にデビュー。ナント、リオ・デ・ジャネイロ等国際声楽コンクールに入賞。帰国後は、BCJ (パッサ・コレギウム・ジャパン) のソリストとして国内外の公演 (ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカ、イスラエル、韓国) に参加。北とびあ国際音楽祭ではバロックオペラで古楽オーケストラとともに聴衆を魅了している。ジョージ・ベンジャミン「冬の心」を作曲家自身の指揮で東フィルと日本初演、権代敦彦らの作品を世界初演。録音は25点を超えるBCJとのCDをはじめ「フォーレ《小ミサ》(ジャン・フルネ指揮)」「月の光〜エラルールピアノとフランスのうた〜(レコード芸術誌特選盤)」などがある。日仏声楽コンクール審査員。東京藝術大学古楽科教授。お茶の水女子大学非常勤講師。

恋歌にも祈りの歌にも
施された、
フランス古典期の
優美な装飾。
声とクラヴサンのみの
親密なアンサンブルで
お届けします。



撮影：林泰代理

葉形亜樹子 Akiko Kuwagata クラヴサン

東京藝術大学附属音楽高校、同大作曲科を経てドイツ政府奨学生としてデトモルト、シュトゥットガルト音大のチェンバロ科修了。パリに移りセルジー国立地方音楽院等で教鞭を取る傍ら欧州各地で演奏活動に従事。17年の欧州滞在後2000年に帰国、幅広く活動している。現在、東京藝術大学非常勤講師、松本市音楽文化ホール講師。2017年12月ソロアルバム『メディテーション〜フローベルガーの眼差し』をdream window TREEレーベルからリリース (ハイレゾ配信)。

2018年5月11日 [金]

19:00 開演 (18:30 開場)

東京オペラシティ 近江楽堂

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ 3F
京王新線「初台駅」東口より3分

全席自由 前売 4500円 / 当日 5000円

ご予約・お問合せ (マネジメント) :

オフィスアルシュ tel.03-3565-6771

チケット取扱い :

東京オペラシティチケットセンター tel.03-5353-9999

東京古典楽器センター tel.03-3952-5515

イープラス <http://eplus.jp>

後援：東京藝術大学音楽学部同声会 / 日本チェンバロ協会

